



✿ 目的

- ① 看護職員が当院の看護部理念に沿った看護観を確立する為に、専門職業人として必要な能力の獲得と向上を目指します。
- ② 看護・医療のニーズに見合った教育を実施し、看護の質の向上を図ります。
- ③ 医療チームの一員としての役割がとれるように、看護活動を支援し、併せて豊かな人間性と業務に対する満足感を高めます。

✿ 令和7年度 教育研修の内容

- ① 新規採用者研修：院内研修 入職時5日間
「入職時の研修内容」
 - ・看護部の理念・方針：講義
 - ・看護職としての心得：講義、グループワーク
 - ・安全対策：講義、演習（内服の誤薬）、グループワーク
 - ・院内感染：講義、演習（防護エプロン・マスクの着脱）
 - ・認知症の理解：講義
 - ・看護記録：講義、電子カルテの入力演習
 - ・看護技術演習：※配属先で動画や資料をもとに分かりやすく個別で指導します。
 - ・接遇について（院内研修…関連病院共催）
- ② 看護協会主催新規会員研修：院外 1日間
- ③ 院内研究発表会：半日

✿ 新人教育体制

- ① 新人看護師1名に対し、2名以上の『実地指導者』を配置する。
実地指導者は、クリニカルラダーⅡ以上かつ臨床経験4年目以上の看護師が担当する。
役割：新人へ臨床実践に関する実地指導・評価を行う。
- ② 各部署の副師長が自部署の新人看護師の『教育担当者』となる。
役割：現場での新人指導の運営を中心に行う。
- ③ 教育担当師長が『研修責任者』となる。
役割：新人研修のプログラムを企画・運営する。『教育担当者』『実地指導者』に指導・助言を行う。



✻ キャリアアップ支援

- ① クリニカルラダー制度（臨床看護実践能力習熟段階）を導入している。
- レベルⅠ：新人レベルであり、職場での指導や教育を受けながら看護実践を行うことができる。
- レベルⅡ：所属の臨床場面において看護実践を一人前に実践できる。
- レベルⅢ：優秀な看護実践に加えて、組織的な役割遂行を実践できる。
- レベルⅣ：所属の臨床場面においては卓越した看護実践を実施し、組織的にも広範囲な役割遂行を実践できる。
- ② 助産師を目指す人：奨学金貸与制度あり
- ③ 認定看護師を目指す人：助成金支給制度あり
- ④ 特定行為研修の受講を希望する人：助成金支給制度あり

院内各委員会主催研修

看護職

(月)

対象者		研修名	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
実践能力	レベルⅠ 新人	フォローアップ(グループワーク)			●		●			●				●	
		フィジカルアセスメント					●								
		救急蘇生							●						
		報告の仕方 夜間や緊急時に備えて							●						
		医療安全		●	●	●	●	●							
		社会人基礎力			●					●					
		看護観											●		
		看護記録								●					
		褥瘡予防:皮膚排泄ケア						●							
		接遇			●										
	レベルⅠ・Ⅱ	メンバーシップ					●					●			
	レベルⅡ	リーダー1				●							●		
	レベルⅢ	リーダー2			●				●						●
		実施指導者研修	●		●		●			●					●
	全レベル 共通	看護観再確認				●								●	
		臨床倫理									●	●	●		
社会人基礎力									●						
全ての 看護部職員	看護部の理念と方針			●											
	リフレクション研修						●					●			
	アサーション研修												●		
	生活習慣病・糖尿病ケア					●	●	●	●	●					
	緩和ケア:緩和ケア認定Ns がん性疼痛認定Ns他					●	●		●	●	●			●	
	感染対策 週時動画配信も実施します。								●	●	●				